

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 株式会社グリムス 上場取引所 東  
 コード番号 3150 URL <http://www.gremz.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中政臣  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 阿部嘉雄 TEL 03-5769-3500  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,746	30.4	1,639	44.1	1,689	43.8	1,139	41.4
2019年3月期第3四半期	9,005	37.4	1,137	40.5	1,175	33.2	805	45.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,139百万円 (41.4%) 2019年3月期第3四半期 805百万円 (45.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	101.02	99.62
2019年3月期第3四半期	69.28	68.47

(注) 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,293	4,790	57.7
2019年3月期	6,926	3,843	55.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,786百万円 2019年3月期 3,838百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	12.00	17.00
2020年3月期	—	5.00	—		
2020年3月期（予想）				14.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,830	30.4	1,600	14.2	1,633	12.8	1,071	7.0	94.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2020年3月期の連結業績予想については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」及び本日（2020年1月31日）公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	11,645,400株	2019年3月期	11,645,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	362,926株	2019年3月期	364,072株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	11,282,191株	2019年3月期3Q	11,630,878株

（注）当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得の改善や個人消費の持ち直しなどにより景気は緩やかな回復基調で推移している一方、通商問題をめぐる動向や中国経済の減速懸念など世界経済の不確実性により、先行きは不透明な状況が続いています。

このような経済状況の中、当社グループは、エネルギーコストソリューション事業において、電力基本料金削減コンサルティングによる運用改善、LED照明の販売、業務用エアコンやトランス、コンプレッサーなどの省エネ設備の販売による設備改善、電力料金の削減を目的とした電力の取次による調達改善、スマートハウスプロジェクト事業において、住宅用太陽光発電システムや蓄電池等のエネルギー関連商品の販売による設備改善、小売電気事業において、高圧電力需要家から低圧電力需要家まで幅広い顧客を対象とした電力の小売による調達改善など、顧客に電力の運用・設備・調達改善を提案し、エネルギーに関連する様々な商品・サービスを提供してまいりました。なお、販売費及び一般管理費において賞与引当金を95百万円（前年同四半期は92百万円）計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は11,746百万円（前年同四半期比30.4%増）、営業利益は1,639百万円（前年同四半期比44.1%増）、経常利益は1,689百万円（前年同四半期比43.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,139百万円（前年同四半期比41.4%増）となりました。

事業別の状況は、以下のとおりであります。

## [エネルギーコストソリューション事業]

エネルギーコストソリューション事業につきましては、業務用エアコン・コンプレッサー・トランスなどの各種省エネ設備の販売を推進してまいりました。その結果、エネルギーコストソリューション事業の売上高は3,691百万円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント利益は915百万円（前年同四半期比19.0%減）となりました。なお、賞与引当金を51百万円（前年同四半期は54百万円）計上しております。

## [スマートハウスプロジェクト事業]

スマートハウスプロジェクト事業につきましては、ハウスメーカーとの提携販売やVPP（バーチャルパワープラント（注））の活用といった多様な販売手法を活用し、蓄電池や住宅用太陽光発電システムの販売を積極的に推進してまいりました。また太陽光発電の10年間の固定価格買取制度の適用が終わる卒FIT案件の今後の増加が見込まれることから、自宅で発電した電力を自家消費するご提案を進めてきた結果、蓄電池の単体販売が増加しております。その結果、スマートハウスプロジェクト事業の売上高は3,007百万円（前年同四半期比14.3%増）、セグメント利益は303百万円（前年同四半期比28.1%増）となりました。なお、賞与引当金を21百万円（前年同四半期は18百万円）計上しております。

（注）バーチャルパワープラント：いくつかのエネルギーリソース（太陽光発電システム・蓄電池など）をエネルギーマネジメント技術により制御し、あたかも一つの発電所のように利用するしくみ。

## [小売電気事業]

小売電気事業につきましては、エネルギーコストソリューション事業の既存顧客に対する電力の小売を推進し、約80%といった高い成約率をもとに順調に収益を伸ばしております。その結果、小売電気事業の売上高は5,047百万円（前年同四半期比80.1%増）、セグメント利益は900百万円（前年同四半期比282.1%増）となりました。なお、賞与引当金を6百万円（前年同四半期は5百万円）計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ805百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が487百万円、受取手形及び売掛金が382百万円増加する一方、商品が67百万円減少したことによるものです。固定資産は2,210百万円となり、前連結会計年度末に比べ561百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が499百万円、敷金及び保証金が106百万円増加する一方、機械及び装置が31百万円、ソフトウェアが16百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は8,293百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,366百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,548百万円となり、前連結会計年度末に比べ311百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が263百万円、未払消費税等が45百万円増加し、賞与引当金を95百万円計上した一方、未払金が115百万円減少したことによるものです。固定負債は954百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が113百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は3,502百万円となり、前連結会計年度末に比べ419百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ947百万円増加いたしました。これは主に、四半期包括利益により1,139百万円増加する一方、剰余金の配当により191百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益がいずれも通期連結業績予想をすでに上回っております。

通期連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました連結業績予想を現在据え置いておりますが、今年の暖冬傾向が電力調達価格に与える影響を見積もり、小売電気事業の合理的な業績見通しを算定したうえで、業績予想の修正を開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,490,363	3,977,607
受取手形及び売掛金	1,163,431	1,546,272
商品	516,788	449,352
前払費用	73,052	104,956
未収還付法人税等	11,876	—
その他	26,190	9,526
貸倒引当金	△4,254	△4,891
流動資産合計	5,277,449	6,082,823
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	105,170	109,161
機械及び装置(純額)	790,006	758,700
車両運搬具(純額)	23,719	19,266
工具、器具及び備品(純額)	88,983	84,664
土地	119,843	123,877
有形固定資産合計	1,127,724	1,095,670
無形固定資産		
ソフトウェア	33,248	16,856
ソフトウェア仮勘定	—	1,320
無形固定資産合計	33,248	18,176
投資その他の資産		
投資有価証券	129,289	628,325
長期貸付金	10,000	10,000
繰延税金資産	54,496	55,287
敷金及び保証金	266,706	372,736
その他	27,910	30,596
投資その他の資産合計	488,403	1,096,945
固定資産合計	1,649,376	2,210,793
資産合計	6,926,826	8,293,616

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	691,868	955,806
1年内返済予定の長期借入金	486,800	457,886
未払金	593,371	478,209
未払法人税等	254,835	283,803
未払消費税等	127,298	172,533
預り金	35,152	36,686
賞与引当金	—	95,700
資産除去債務	11,000	—
その他	37,252	68,221
流動負債合計	2,237,579	2,548,845
固定負債		
長期借入金	764,007	877,068
資産除去債務	73,121	73,340
その他	8,738	3,602
固定負債合計	845,866	954,010
負債合計	3,083,446	3,502,855
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	599,249	599,249
資本剰余金	343,536	342,480
利益剰余金	3,388,562	4,336,473
自己株式	△492,576	△491,077
株主資本合計	3,838,771	4,787,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△408
その他の包括利益累計額合計	—	△408
新株予約権	4,608	4,043
純資産合計	3,843,380	4,790,761
負債純資産合計	6,926,826	8,293,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	9,005,125	11,746,497
売上原価	5,353,099	7,364,859
売上総利益	3,652,026	4,381,638
販売費及び一般管理費	2,514,242	2,742,077
営業利益	1,137,783	1,639,560
営業外収益		
受取利息	99	73
受取配当金	2,450	1,856
受取手数料	17,990	19,823
助成金収入	31,210	43,994
その他	1,521	2,226
営業外収益合計	53,271	67,974
営業外費用		
支払利息	5,045	3,958
支払手数料	9,534	13,199
その他	921	455
営業外費用合計	15,500	17,614
経常利益	1,175,554	1,689,920
特別利益		
投資有価証券売却益	42,681	—
固定資産売却益	0	0
補助金収入	—	12,375
特別利益合計	42,682	12,375
特別損失		
固定資産除却損	4,142	1,410
固定資産売却損	1,406	1,110
減損損失	949	—
固定資産圧縮損	—	12,168
特別損失合計	6,499	14,689
税金等調整前四半期純利益	1,211,738	1,687,607
法人税、住民税及び事業税	391,139	548,519
法人税等調整額	14,827	△611
法人税等合計	405,966	547,907
四半期純利益	805,771	1,139,699
親会社株主に帰属する四半期純利益	805,771	1,139,699



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	805,771	1,139,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△408
その他の包括利益合計	—	△408
四半期包括利益	805,771	1,139,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	805,771	1,139,291

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	エネルギーコストソリューション事業	スマートハウスプロジェクト事業	小売電気事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,571,250	2,630,782	2,803,093	9,005,125
セグメント間の 内部売上高又は振替高	98	—	—	98
計	3,571,348	2,630,782	2,803,093	9,005,224
セグメント利益	1,130,020	236,512	235,669	1,602,202

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,602,202
全社費用(注)	△464,418
四半期連結損益計算書の営業利益	1,137,783

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「スマートハウスプロジェクト事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は949千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エネルギーコストソリューション事業	スマートハウスプロジェクト事業	小売電気事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,691,478	3,007,557	5,047,461	11,746,497
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,691,478	3,007,557	5,047,461	11,746,497
セグメント利益	915,688	303,001	900,415	2,119,104

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,119,104
全社費用（注）	△479,544
四半期連結損益計算書の営業利益	1,639,560

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。